



5

広島県立歴史民俗資料館・広島県立歴史博物館との共催事業「ぱれっとカレッジ」

世界遺産の旅Ⅲ

ひろしま※
カレッジ
受講証

広島県には原爆ドームと厳島神社の二つの世界遺産があり、世界各地からの多くの人々が訪れています。ユネスコによって世界遺産リストに登録されている遺産は2012年7月現在962件で、文化遺産・自然遺産・複合遺産などに分類されています。また、ユネスコでは世界遺産と並んで無形文化遺産232件、世界の記憶245件の登録も行われています。遺産の景観や環境の保全が行われると共に新しい遺産の登録も進められています。世界にはどのような遺産があるのでしょうか。海外旅行で既に行かれた方も多いでしょうが、この講座では、草戸千軒町遺跡調査研究所や県立歴史博物館・県立歴史民俗資料館に携わった学芸員や比治山大学教員が現地を訪れた世界遺産を紹介します。今回の講座ではフランス・トルコ・カンボジア・日本で見学した遺跡を取り上げ、その様相や関連する遺跡などについて研究者の目で語ります。現地の写真や遺跡の図面などを見ながら、世界遺産の旅をしてみましょう。

開講日	講師	内容
8月31日(土) 14:00～15:30 [入場受付は、13:30からです]	広島県立歴史博物館 主任学芸員 岡野 将士 (おかの まさし)	栃木・日光の社寺 日光は、日光東照宮・二荒山神社・輪王寺の二社一寺の103棟(国宝9棟、重要文化財94棟)の「建造物群」と、これらの建造物群を取り巻く「遺跡(文化的景観)」が世界遺産として、登録されています。「日光を見ずして結構というなかれ」とか、「日暮門」と呼ばれる陽明門の日光東照宮を中心に発展したことは勿論ですが、日光が持つ魅力はそれだけではありません。東照宮参拝に伴う例幣使街道などの杉並木も総距離で世界最長の並木道です。こうした周辺の情報も交えながら、日光の歴史と文化について概観していきます。
9月7日(土) 14:00～15:30 [入場受付は、13:30からです]	比治山大学 名誉教授 藤井 昭 (ふじい あきら)	広島・「壬生の花田植」とその周辺 壬生の花田植の概要は、①花飾りをつけた牛や着飾った早乙女などでハレの舞台を作り、田の神を迎える。②田の神は田を均すエブリに依り付く。田の神と一緒に、代掻き・苗取り・田植の作業を音楽を交えて行う。③田の神は畦に立て苗をのせたエブリを伝えて昇天する。この花田植の価値は、地域の先人の努力によって信仰・労働・芸能の3要素が調和して伝承されているところにある。しかし、花田植には有形の遺産と異なる保存上の問題点があり、留意したい。
9月14日(土) 14:00～15:30 [入場受付は、13:30からです]	広島県立歴史民俗資料館 主任学芸員 石橋 健太郎 (いしばし けんたろう)	フランス・ヴェルサイユ宮殿 1682年にフランスの太陽王ルイ14世が建造したヴェルサイユ宮殿は、パリの南西22キロに位置します。主な部分の設計はマンサールとル・ブランによっておこなわれ、庭園はアンドレ・ル・ノートルによって造営されました。1979年に世界遺産に指定され、フランスの最も人気のある観光スポットとして、世界中から観光客を集めています。今回、この華麗なバロック建築として著名な建物と広大な美しい庭園の歴史と美について紹介します。
9月21日(土) 14:00～15:30 [入場受付は、13:30からです]	広島県立歴史博物館 主任学芸員 久下 実 (くげ みのる)	トルコ・イスタンブール ボスポラス海峡に面し、アジアとヨーロッパの結節点に位置するイスタンブールは「文明の結節点」とも言われます。町の歴史は古く、起源は古代ギリシャの植民市でした。その後、長く東ローマ帝国の都として栄え、さらにオスマン帝国の都として繁栄しました。それらの面影を色濃く残すイスタンブールの歴史地区は、1985年に世界文化遺産に登録されました。講座では、町の歴史と、建造物など文化遺産の魅力を紹介します。
9月28日(土) 14:00～15:30 [入場受付は、13:30からです]	比治山大学 名誉教授 松下 正司 (まつした まさし)	カンボジア・アンコールワット カンボジアの北西部シェムリアップ市周辺に分布するアンコール遺跡群は、9～15世紀に栄えたクメール王朝が残した首都の遺跡で、著名なアンコールワットの寺院跡やアンコールトム都城跡等を中心とした石造遺跡です。1992年に世界文化遺産に登録され、現在も上智大学や奈良文化財研究所などが発掘調査や修復整備を続けています。遺跡の概要や壮大な建造物の様相を写真資料等から学びます。

10月5日(土)

14:00~15:30
[入場受付は、13:30からです]

比治山大学

教授 **志田原 重人**
(しだはらしげと)

滋賀・比叡山延暦寺

天台宗総本山延暦寺は、世界文化遺産「古都京都の文化財」に含まれ、1994年登録されました。最澄によって平安時代初期に創建されてから1200年余りの間、比叡山一帯を寺域とし、法灯を守り伝えて、わが国の歴史と文化に大きな影響を与えました。今回は、東塔・西塔・横川の三エリアを中心に、比叡山の歴史や堂塔などの文化財について紹介するとともに、発掘調査の成果をもとに、いわゆる信長の比叡山焼き討ちについても考えたいと思います。

会場

広島県民文化センター
共用サテライトキャンパス
〒730-0051 広島市中区大手町1丁目5-3
TEL 082-245-2311

申込み

定員：100名 受講料：無料
申込受付開始：7月31日(水) 申込締切日：8月15日(木)
受講許可通知：講座開始1週間前*

*講座開始1週間前になっても受講許可通知が届かない場合は、お手数ですが生涯学習センターまでお問い合わせください。

お申し込み方法

F A X : P.13の「受講申込書」に必要事項をご記入のうえFAXしてください。
FAX番号 082-229-5100
E-mail : 本学HP「一般の方へ」>「公開講座」>「受講申込書」から受講申込書をダウンロードし、必要事項を入力のうえ、添付ファイルで送信してください。
E-mailアドレス shougai@hijiyama-u-ac.jp
郵 送 : P.13の「受講申込書」に必要事項をご記入のうえ郵送してください。
〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1 比治山大学生涯学習センター

